

# 宇和島の方言における文末表現について

## －「～てや」と「～さいや」の調査－

1年2組 藤本 幸樹

1年4組 玉井丈太郎

指導者 教諭 渡部 陽子

### 1 課題設定の理由

私たちが住んでいる町には、他の地域では聞かない言葉が多くあり、普段、友達と話しているといろいろな方言を耳にすることがある。自分が使わない方言を聞くと「ん？」と思わず聞き返してしまう。相手に意味を教えてくださいと面白いと思う。また、他の地方に行くと聞き慣れない言葉を耳にするのも少なくなく、とても興味が湧く。そこで私たちの住んでいる町のことをもっとよく知ろうと思った。その中でも、特に自分たちがよく使う文末表現の「～てや」、宇和島地域で代表的な「～さいや」という言い方、さらには、植物の呼び方などを調査することにした。

### 2 仮説

「～てや」は自分の友人にも使う人が多くよく耳にするため、宇和島旧市街、市内問わずかなり多くの人を使うだろう。「～さいや」はあまり使うのを聞いたことがなく、宇和島旧市内の特に40代～60代の人がよく使うだろう。植物は私たちと同世代の人には、あまりなじみがないため、40代～60代の人の方が見たことがある割合が高いと思う。

### 3 研究・調査の方法

「～てや」「～さいや」を使うか使わないかを宇和島旧市内外の10代～60代、40代～60代に分けて、アンケートを行った。また、植物は写真を見せ、見たことがあるかないか、他の呼び方を使うか使わないかを、高校生でも比較的知っていると思われる3種の植物（写真1～3）で方言と同じようにアンケートを行った。



写真1: ドクダミ



写真2: ワラビ



写真3: ヨモギ

＜アンケート調査項目＞

- あなたの年齢・性別と住んでいる地域を教えてください。  
A 吉田町 B 宇和町 C 鬼北町 D 明浜町 E 津島町 F 愛南町 G 宇和島市 H 三間町 I その他  
a 10～30代 b 40～60代 c 70歳以上 男・女
- 方言「きさいや」を使いますか？ 例：うちにきさいや
- 方言「てや」を使いますか？ 例：違うてや
- 写真1の植物(ドクダミ)を見たことがありますか？ また、次の呼び方を使いますか？
- 写真2の植物(ワラビ)を見たことがありますか？ また、次の呼び方を使いますか？
- 写真3の植物(ヨモギ)を見たことがありますか？

## 4 結果と考察

### (1) 結果

アンケート調査結果を表1、2にまとめた。

表1:「～てや」「～さいや」の使用率(10代～30代)

年齢層:10代～30代		
	宇和島旧市内	宇和島旧市外
～てやの使用率(%)	100.0	69.2
～さいやの使用率(%)	91.3	84.0

表2:「～てや」「～さいや」の使用率(40代～60代)

年齢層:40代～60代		
	宇和島旧市内	宇和島旧市外
～てやの使用率(%)	92.3	40.0
～さいやの使用率(%)	100.0	60.0

### (2) 考察

予想していたように、「てや」「～さいや」の使用率は高いことが分かる。旧市内において「～てや」の使用率は9割を超えていた。しかし、旧市内と旧市外の結果を比べてみると、旧市内が10～30代において100%、91.3%であるのに対し、旧市外は10～30代において69.2%、84.0%と全体を通してみるとかなりの差がある。また、40代～60代においても旧市内が92.3%、100%であるのに対し旧市外は40%、60%と同様に差があることが分かった。この結果から、「～てや」という方言は、宇和島で主に使われていることが分かる。「～さいや」もやはり、宇和島旧市内では9割以上の使用率だが旧市外では、使用率が6割のところもあり、これも宇和島を中心に使われている方言であると考えられる。年代別の使用率をみてみると、旧市内ではあまり差がなかったが、旧市外では「～てや」「～さいや」ともに10代～30代の使用率が高く、予想とは異なっていた。なぜ、このような調査結果になったのかその原因は不明だが、これらの方言は比較的若い世代でも使用していることが明らかになった。

植物の名前についての調査では、40代～60代は全体的に植物を見たことがある割合が10～30代に比べて高いことが分かる。若い世代では、植物を見る機会も少なく、名前も知らないと答えた割合が多かった。かつては、農作業や野外での遊びを通して身に付けていたと思われる知識が、失われつつあるのではないかと推察される。

## 5 まとめと今後の課題

今回の調査では以上のような結果が得られたが、さらに多くの人を対象に調査をすることでまた違った傾向が見られるかもしれない。宇和島と近隣市町で明らかに使用傾向が異なる表現を対象にしていくことで、旧宇和島から生まれた(使用し始めた)言葉のある程度特定していくことが可能なのではないかと推察される。

## 参考文献

- ・『宇和島の方言 一話と語彙』 篠崎 充男
- ・『宇和島の方言 改訂版』 篠崎 充男